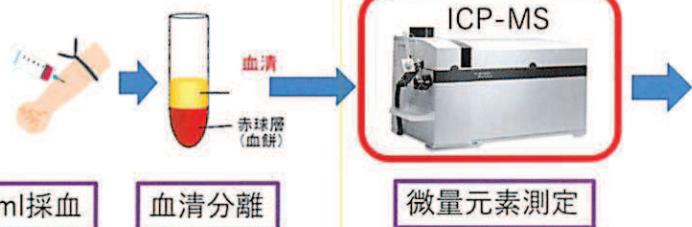


# メタロ・バランス(MB)検査とは?

微量元素の濃度バランス変化を利用

Inductively Coupled Plasma-Mass Spectrometry  
(誘導結合プラズマ-質量分析)



神奈川県立がんセンター・千葉県がんセンターとの共同研究 (case control study) で  
2019年4月から実用化に成功  
米国・ヨーロッパ・アジアで特許取得済み

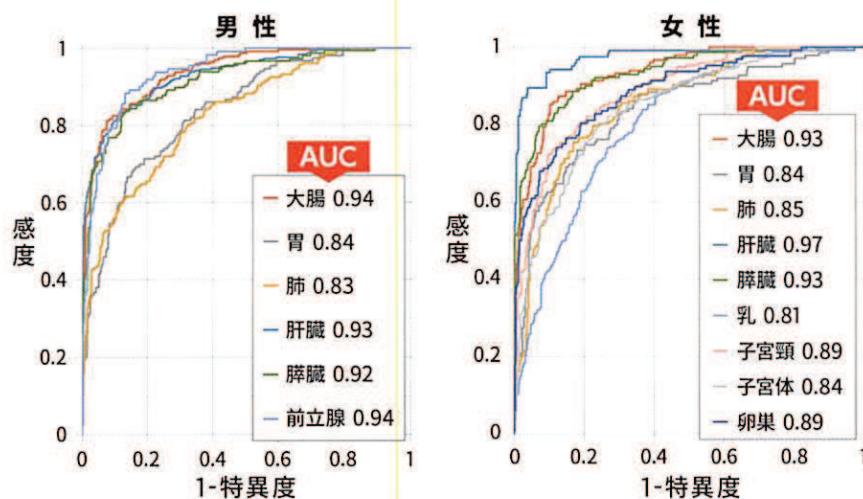
元素		
1	Na	ナトリウム
2	S	硫黄
3	K	カリウム
4	P	リン
5	Ca	カルシウム
6	Mg	マグネシウム
7	Fe	鉄
8	Cu	銅
9	Zn	亜鉛
10	Rb	ルビジウム
11	Se	セレン
12	Sr	ストロンチウム
13	As	ヒ素
14	Mo	モリブデン
15	Cs	セシウム
16	Co	コバルト
17	Ag	銀

男性：6がん  
女性：9がん

## 判別可能ながん

部位	男性	女性
大腸	○	○
胃	○	○
肺	○	○
肝臓	○	○
すい臓	○	○
前立腺	○	
乳		○
子宮頸		○
子宮体		○
卵巣		○

## MB検査のROC曲線とAUC



MB検査は、血中17種類の微量元素濃度バランスからがんに罹患しているリスクを調べます。  
男性6がん、女性9がんの判別が可能です。  
検査のための採血は僅か6ml。  
費用は、15,000円(税別)です。  
AUCも0.8~0.9。  
陽性的中率も国推薦するがん検査と比べても劣りません。

## 陽性的中率の比較

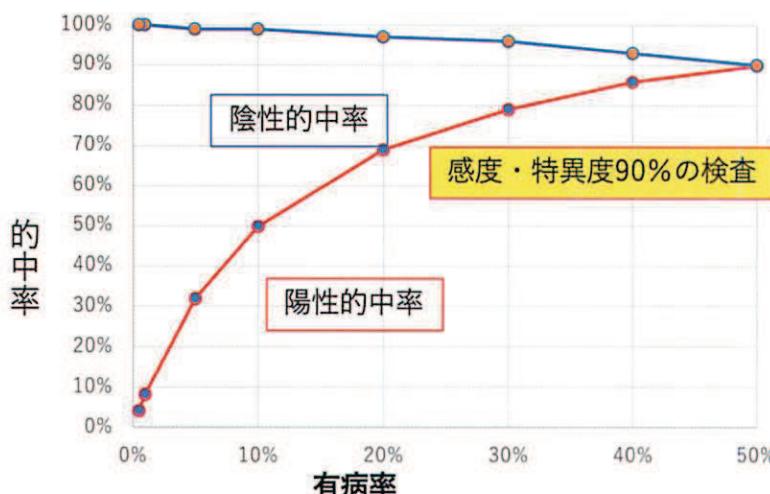


陽性的中率比較	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸	乳がん
国推奨のがん検診	1.6%	2.5%	3%	1.5%	4.8%
MB検査	3.5%	3.8%	4.1%	1.4%	2%



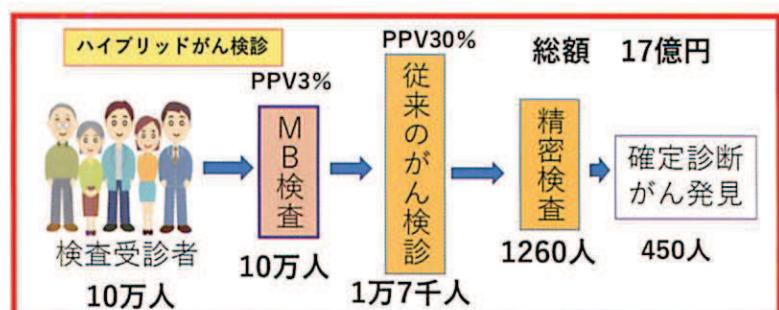
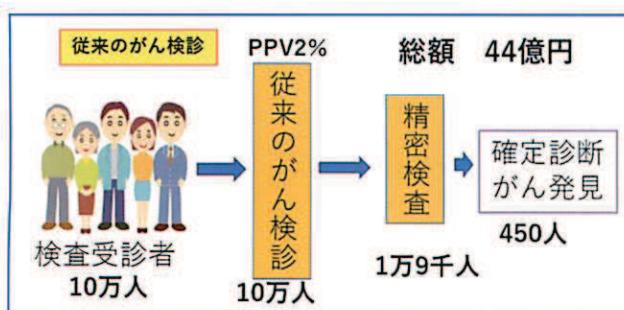
# ハイブリッドがん検診の提案

有病率と陽性的中率・陰性的中率の関係



## ハイブリッドがん検診

- ・検診を受ける集団の有病率が低いほど PPV(陽性的中率)は下がる。(グラフ)
- ・がん検診の有病率は0.2%以下と低い。
- ・国の推奨するがん検診もMB検査も有病率が低いので、PPVも低い。
- ・両方を組み合わせることで、コストは60%下がる



従来のがん検診とMB検査を組み合わせることにより、無駄の無い検査が可能になります。がん検査受診者集団の有病率が低いのでPPV(陽性的中率)も低くなります。両検査を組み合わせることによりPPVは、飛躍的に高くなり結果的に総合の検査費用も安くなります。試算によると60%のコストダウンが可能です。また、MB検査の様に受診しやすい検査を1次検査にすることにより、飛躍的にがん検診受診率を増やすことが出来ます。

## MB検査のお問い合わせ・お申し込みは

ご説明は診療終了後のリモート説明サービスもございます。ご利用ください。



株式会社レナテックまでお気軽にお問い合わせ下さい。

本社 | ☎ mbinfo@gankensa.jp ☎ 0463-74-6129  
神奈川県伊勢原市高森4-19-15

大阪 営業所 | ☎ kasatani@renatech.net ☎ 06-6152-6234  
大阪市淀川区西中島6-5-3 サムティフェイム新大阪1号館102

検査についてはHPをご覧ください

[メタロバランス](#)

[検索](#)



こちらからも  
アクセスできます

代理店